

留 学 報 告 書

記入日:2014年5月31日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヨーク大学 現地言語: York University
留学期間	2013年9月～2014年4月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年5月2日
明治大学卒業予定年	2016年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:1月上旬～4月下旬
学生数	50,000人
創立年	1959年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	6,800ドル	680,000円	
食費	3,000ドル	300,000円	ミールプラン含む
図書費	500ドル	50,000円	
学用品費	100ドル	10,000円	
教養娯楽費	2,000ドル	200,000円	
被服費	500ドル	50,000円	
医療費	0	0円	
保険費	1,000ドル	100,000円	形態:大学指定
渡航旅費	2,000ドル	200,000円	
雑費	50ドル	5,000円	
その他	0	0円	
合計	15,950ドル	1,595,000円	

渡航関連

渡航経路: デトロイト経由、ダイレクト

渡航費用

チケットの種類	片道
往路	13 万円
復路	7 万円
合計	20 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

デルタ航空、カナダ航空

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3) 住居を探した方法:

大学の斡旋

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ポンドレジデンスが一番だと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題ありませんでした。留学生用の窓口はあります。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

友人から、危険地域情報を聞きました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

有線のコードがあれば、インターネットは問題ありません。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードとデビットカードを使いました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

冬をしのぐコート。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 留学している人はたいいてい大学 3 年生以上です。現地で出会う他大の交換留学生との交流は貴重です。レベルの差を感じることでしよう。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Thinking about Contemporary Canada	現代カナダ
科目設置学部・研究科	General
履修期間	1 年
単位数	8
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Nidhi Sachdeva
授業内容	カナダの歴史、特にインディアンと多民族国家について。
試験・課題など	毎週のリーディングと課題、中間・期末テスト、プレゼンテーション、中間・期末レポート
感想を自由記入	英語のレポートの書き方もおしえてくれる、とてもためになる授業。中国人が多く、友だちを作りやすい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introductory Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	ADMS
履修期間	1 学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Kim Snow
授業内容	マーケティング戦略の基礎を学び、独自のブランドを開発、発表。
試験・課題など	グループプレゼンテーションとテスト
感想を自由記入	講義だけではなくので、会話に入れる英語力が必要。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japanese Society and Culture		日本の社会と文化	
科目設置学部・研究科	General		
履修期間	1年		
単位数	8		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション少々		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Kiyoko Toratani		
授業内容	日本の文化と社会を深く学ぶ。言語は英語。		
試験・課題など	レポート、確認テスト、中間・期末テスト		
感想を自由記入	日本の文化を教えるはずが、逆に日本の文化を教わった。友だち作りやすい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Environment Economics		環境経済学	
科目設置学部・研究科	ECON		
履修期間	1学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Andrea S. Podhorsky		
授業内容	ミクロ経済学を基礎として、環境保全と汚染の最適点を探していく。教科書を読めば、授業についていけるレベル。		
試験・課題など	中間・期末テスト		
感想を自由記入	1年生の時に学んだ、ミクロ経済学を活かすことができる授業。計算はそこまで複雑ではなく、経済学の要領の良さを実感できる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Trade		国際貿易論	
科目設置学部・研究科	ECON		
履修期間	1学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	Ardeshir Noordeh		
授業内容	貿易理論と、関税、数量制限が引き起こす厚生損失をグラフも使って考える授業。		
試験・課題など	中間・期末テスト		
感想を自由記入	講義で、グラフと定義をパワーポイントで解説していただけなので、自分がどこまで理解できているのかが、途中でわからなくなってくる。けれども、試験で自分の理解度が明らかになる。教科書をしっかり読んで深く理解する事が必要。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introductory Statistics for Economists I		経済統計学	
科目設置学部・研究科	ECON		
履修期間	1 学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Xianghong Li		
授業内容	統計学		
試験・課題など	中間・期末レポート		
感想を自由記入	統計学の語彙を理解していないと、授業は理解不能、日々の復習が鍵を握る。中間テストは簡単だが、期末がとても難しい。中間でBをとっても期末のせいでFになってしまふ人がいると毎度、先生が忠告している。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Business, Government and Society		W.W.II 後の企業、政府、社会の変遷	
科目設置学部・研究科	POLS		
履修期間	1 学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、チュートリアル		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Kate Daley		
授業内容	ケインズ派と新古典派の変遷と、比較。		
試験・課題など	新聞に対するレポート、レポート、中間・期末テスト		
感想を自由記入	1 年間で一番難しく、最も面白かった授業である。初めて、政治と経済学が繋がって、いろいろな発見があった。留学後の進路決定に多大な影響を与えた科目である。大変つらかったが、とてもためになったので、通年でとれば良かったと後悔している。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL の勉強
10月～12月	TOEFL と面接準備
2013年 1月～3月	フランス留学
4月～7月	経済学の勉強
8月～9月	留学
10月～12月	期末試験
2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学しようと決めたきっかけは、何か自信になるものが欲しいと思ったからです。大学に入学すると、就活までの自由な時間はその人の将来を決める貴重な時間でもあります。入学式での、「今は同じスタートラインでも、4年後の君たちの位置には相当なばらつきがあるだろう」という学長のお言葉が心に残っています。私はこの4年間が就活までの最後の勝負という風に受け取ったので、とりあえずこの4年間は悔いのないように色々挑戦してみようと思いました。とは言ったものの、あれもこれもということではできないので、とりあえず英語一点にしばって留学という目標を作りました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学までの準備はほとんど TOEFL の勉強で、私の最初の点数は 54 点でした。それでも何とか募集要項に見合う点数まで持って行くために、明治大学の TOEFL セミナーや ACE の TOEFL 対策講座を受けたり、フィリピンに行ったりもしました。色々やりましたが、TOEFL は単語の暗記量であり、自分でいかに追い込んで毎日こつこつやっていくかが鍵になると思います。その他、やっておくべきことはマクロミクロの復習、本を読んで自分は何に興味があるのかを探すことです。political science の授業をとった時に感じたのは、日本で経済史を勉強しておけば良かったということです。日本語で理解できないものは、英語では理解できません。
この留学先を選んだ理由	留学相談をしていた時、先生にカナダを進めていただいて、カナダを目指すことになりました。特に何があるから行きたいという理由はなく、正直その頃は勉強に必死だったので、最終的には自分の点数に見合った学校に行くつもりでした。結果的にカナダに行くことができたのですが、自分なりのカナダを選んだ理由としては、フランス語を学ぶこともできる点、アメリカのように多民族国家ではありますが、multinational country として、アメリカよりも個々の文化を尊重している点が挙げられます。
大学・学生の雰囲気	5 万人のマンモス校であるのにふさわしく、大学には広大な土地、自然があります。田舎と言われるほど何もありませんが、勉強するにはこのような環境はとても適しているのではないかと思います。実際、何も無いとは言いつつも、電車に乗れば 1 時間ほどでダウンタウンにも行けるので、観光もしっかり楽しめます。また、ヨーク大学は世界からインターナショナル生を勧誘しているので、グローバルな友人ができると思います。私はモーリシャス人と仲良くなったのですが、正直その友人ができるまではモーリシャスという国さえも知らなかったもので、その国の文化等を教えてもらったことは貴重な経験であるし、このような経験はカナダであるからこそできるものだと思います。
寮の雰囲気	寮は Pond Residence というところを選んだのですが、ヨーク大学が提供してくれる寮の中で一番きれいで、キッチン、シャワーを好きな時に使うことができるので、良いと思います。Pond Residence に住んでいれば、何かとイベントや割引もありますし、ビリヤードや卓球台もあるので、友人も呼びやすいです。雰囲気はとても明るいと思います。色々な人種がいて、みんなでわいわいやっている感じです。個人部屋があり、キッチン、シャワーを 2 人で利用するので、親密な友だちが作りやすいです。
交友関係	当初は友だちがあまりできませんでしたでしたが、日本の文化に関する授業や、ESL を通じて友だちができていきました。後期には親しい友だちもでき、週に一度は会って会話するようになって、英語の上達も早くなりました。また、中国人が多いので、もともとの文化が近いせいもあるのか、友だちになりやすいです。毎日一緒にタバコを吸いながら、その日の出来事を話していました。アジア人以外の人は文化、考え方が全く違ったりするので、最初はアジア人の友人を増やしていくことをお勧めします。
困ったこと、大変だったこと	ビザの申請を早めに行うべきだと思います。去年はストライキで、大使館が機能しているのかどうか微妙な状況でした。そのことを知らずに出発の1ヶ月前前に申請したところ、現在ストライキ中で、いつ許可が下りるかわからないという旨がウェブサイトに掲示されていて、正直焦りました。航空券も同様ですが、何事も早めに行動して損はないと思います。あと、基本的に海外保険に歯の治療が含まれていないので、出発前に歯科医院に行くことをお勧めします。
学習内容・勉強について	単位を認定してもらうため、基本的に経済系をとっていましたが、経済系はあまり英語が難しくなく、一方通行の授業が多いので、後期は経済系に縛られず political science 等をとってました。political science 系の条件が高いように、授業のレベルはとても高かったです。このようなことを英語でスムーズに言えるようになりたいと思って勉強していました。卒業単位を埋めることも大切ですが、経済系以外の科目はこの機会ではしか履修できないので、色々なことに挑戦してみるのをお勧めします。

課題・試験について	<p>課題は出る授業と出ない授業がありますが、私は事前に予習をしないと授業についていけなかったため、その時間が多かったです。課題は新聞を読んで感想を書いたり、本の要約を書いたり様々ですが、無理というほどではなかったです。試験は選択肢もあれば全問説明問題もあり、レポートに近いものを試験時間内に書けというものも出ます。ライティング技術は不可欠だと痛感しました。また、プレゼンテーションもあつたりして、TOEFL の 4 つのセクションをフル活用という感じです。留学前に準備しておいた方が良いです。</p> <p>できれば、明治大学の授業に英語論文の書き方みたいな授業があれば良いと思いました。</p>
大学外の活動について	<p>バスケットボールのサークルに入りたかったのですが、ちょうど良いサークルがなく、特にサークルには参加しませんでした。時々 jisa というアジア人が好きな人を集めたサークルのイベントに参加していました。language exchange など大学外の交流も参加しましたが、だんだんと授業の予習、復習で手一杯になってしまい、継続的には行きませんでした。大学が支援する大学外の活動があつたりもするのですが、たいてい 5 月から 8 月の間にあるので、参加は難しいと思います。</p>
留学を志す人へ	<p>留学が何かを変えてくれることは間違いありません。百聞は一見にしかずで、実際に訪れてみないと、現実にはわかりません。海外の大学に行けるという機会は大学生の時以外、ほぼないでしょう。今しかできない経験を手に入れるために、一年を使って留学に挑戦することは合理的な選択と言えます。私は付属出身で英語に自信のない状態から始めましたが、何とか間に合いました。だから、英語ができないからといってあきらめることはないと思います。まして、明治大学の留学制度は積極的に留学生を送り込もうという姿勢なので、チャンスだと思います。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
	勉強	授業	勉強		勉強	授業	勉強
午後	勉強	授業				授業	ジム
	勉強	授業		授業		ダウンタウン	勉強
夕刻	遊び	授業	遊び			ダウンタウン	遊び
夜	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強